2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	P41703	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170302	クラス名	濱田研究室
担当教員名	濱田　大助		
履修上の注意、履修条件	当該科目の開講年度までに履修すべき科目を履修していることが望ましい。日本語を使用し情報システムに関する内容の講義であることから、国内における事例を理解できるようにしておくこと。講義中の電子辞書(スマートフォンは不可)の使用は許可するが、予習の時点で解決しておくことを推奨する。基本的なPCの操作(ソフトウェア起動終了、日本語入力、ファイル処理等)とWebによる情報収集、メールソフトの操作ができること。他人の学習意欲を減少させると思われる行為は学生・SAなどの報告により評価(減点)対象とする。		
教科書	大学生のためのレポート・論文術 小笠原 喜康 (著)、その他　都度指示		
参考文献及び指定図書	知へのステップ、ほかゼミナールにて使用した参考書、専門分野の参考書を用います。 各種データベース		
関連科目			

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	スケジュール管理と具体的な行動が伴う。			10点
【知識・理解】	既往データ、文献等から身の回りの社会を認識・理解し、どこにひずみがあるかを把握できる		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	これまで学習してきた、各種ツールを用いて効率よく取り組みをまとめることができる。 客観的に自己の発表・論文を評価し改善できる		50点	
【思考・判断・創造】	取り組みにより得た内容を元に自らの思考・判断することができる。 研究内容を元に、応用することや創造することなど発展的な思考ができる。		10点	10点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

かならず提出期限内に提出してください(期限を過ぎて提出された場合は減点します). 達成水準の目安は以下の通りです.

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている.
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている.
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている.
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている.
期日までに論文提出・発表を漏れなく行うこと。決められた時間内に発表と質疑応答を完了させること

○授業の目的・概要等		
授業の目的	・情報システム分野を中心とした研究を行う事により、現代における情報産業やサービスを取り囲む位置づけと役割を認識し、自己進路の指標を得る。 ・先人の研究を元に、問題点を指摘しその指摘を明らかにするために、自らテーマを掲げ取り組みを行う。取り組みは計画性をもって期限を意識した取り組みを行う。 ・JIS　X4051「日本語文書の組版方法」および、JIS Z9041「データの統計的な解釈方法」、JIS Z 8202「量及び単位」に沿った報告書を作成することができるようになる。	
授業の概要	年間の取り組みとなります。 中間発表や期末発表などについては、あらかじめ掲示板等に通知されるものを自ら判断しスケジューリングします。 問題を発見する力、解決のための方法を立案する力、実施する力、取り組みをまとめ報告する力を総合的に涵養します 具体的には、テーマ決定後、計画の立案、実験(調査)を通して技術論文の修得を図る。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

■課題について
課題はWEBアプリにて収集します。提出した課題は手元に残るため復習に役立ててください。予習・復習は、指定した資料の下読み・理解を要します。課題は講義中および復習時などに提出するものとする。提出および再提出(再送信)の期限は次回講義の前日正午までとする。欠席した講義の課題については提出できない。ただし欠席届けにより当該欠席を補填される事がある場合はその限りではない。就職に関連した集合しての取り組みについては、別途指示(提出先、締切など)をだします。
■出席・欠席等について
出席・欠席の管理は情報システムを用いて行います。出席は始業ベルから15分以内までの入力に対して認定します。15分以降は遅刻30分以降の登録または未入力は欠席とします。途中退出は体調不良・就職活動の緊急連絡などに限り、特段のことわり無く許可します。途中退出が30分以上継続する場合は、早退とします。公共交通機関の運行遅延伴う遅刻は、その証明として各会社より発行される”遅延証明”を取得し、提示したときにのみ遅刻を取り消す。本学の大学バスの遅延・運休については、その事実が発生したときに電子メールにより遅延なく報告をすること。報告の遅れや無報告については、救済措置の検討を行わない。
■座席・教科書・水分補給について
座席は自由とする(使用する教室が変更する事があります)。PCの不調や学生の申し出などにより期の途中で変更する事がある。授業資料はプリントを中心に配布する。講義中に説明用に使用するプリントはWEBシステム内で開示している。欠席により配布を受けなかった場合、希望すれば次回以降の出席時に配付する。プリントは、下部にページ番号を振り綴じるための穴をサイドに設ける。最終的におおむね40ページ程度になるため、バインダー等を用意し綴じておくように。PC教室であるため飲食は禁止とする。ただし、健康障害や重大な事故の大きなリスク要因を除去するための厚生労働省が推進する「健康のため水を飲もう」に沿う水分摂取は可とします。
■テストについて
テストは実施しない。評価は、レポートおよび都度提示する課題を主とする。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード:P170302
担当教員: 濵田　大助

学修内容

1. スケジュール確認
これまで学習をしてきたことを振り返り、論文のテーマを決定します。卒業研究に関するスケジュールを確認します。

予習: ゼミナールの取り組みの見直しとファイル化 （約2.0h）
復習: 自己のスケジュールとの差異を確認します。 （約2.0h）

2. テーマおよびスケジュールの決定
テーマとスケジュールを作成します。

予習: 取組内容となるテーマに関する文献のリストアップ （約2.0h）
復習: テーマと問題点を決定 （約2.0h）

3. テーマとポイントの明確化
話題を絞り込み、最終的な主張を定めます。 △テーマ提出(WEB)

予習: 問題点に対する関連情報の収集 （約2.0h）
復習: スケジュールの再構築 （約2.0h）

4. 参考文献による調査
図書館やインターネットから参考文献を探します。

予習: 関連情報の収集と取り組み内容の策定 （約2.0h）
復習: 取り組み内容の妥当性確認 （約2.0h）

5. 先行研究調査と、実験計画
参考文献を元に材料を整理し構成を考える。また構成に応じて、実験や調査の対象と内容を確定する

予習: 取り組み内容の妥当性と、先行研究との違いについて確認 （約2.0h）
復習: スケジュールの再構築 （約2.0h）

6. 事前検証
実験及び調査内容が適切であるか？信ぴょう性の担保のための確認。 先行研究との違いについてまとめる

予習: 信ぴょう性の担保を行うための方策を立案 （約2.0h）
復習: 見直し （約2.0h）

7. 発表準備
研究実施と中間発表の準備

予習: 中間発表（ポスター）用の情報収集 （約2.0h）
復習: ポスターの作成（デジタルデータ） （約2.0h）

8. 発表（中間）
まとめ・中間発表・夏季休暇の計画　△中間発表(ポスター)

予習: 当初テーマと現状の取り組みのブレと現実性について確認 （約2.0h）
復習: 指摘事項があれば、検討する長期休暇のスケジューリング （約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード:P170302
担当教員: 濵田　大助

学修内容

9. 発表後の再確認
振り返りを行い、テーマ（目標および最終地点）の再確認

予習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）
復習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）

10. 実験
結果分析と追実験・追調査の検討、並行して論文執筆の用意開始

予習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）
復習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）

11. 実験
実験等の取り組み

予習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）
復習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）

12 ～26　実験および評価、執筆
実験等の取り組みと、まとめ、論文の執筆および指導の為の提出
テーマ、梗概(概要)、論文、プレゼンテーション資料の提出に向けた調整
論文と発表、ポスター等を用いての解説など通知される手法に沿って期限内に用意します。

予習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）
復習: テーマに沿った取り組み （約2.0h）

27 発表（期末）
期末試験（卒研最終発表）　△コース毎の期末試験(テーマ、概要、論文、パワーポイント)

予習: 発表資料並びに、各種提出書類の提出用意 （約2.0h）
復習: 活動の振り返りと指摘点の反映 （約2.0h）

28 まとめ
論文の仕上げと、次学年への説明・引継ぎ、最終発表までの計画と実施

予習: 総仕上げ、引継ぎの用意 （約2.0h）
復習: 総仕上げ （約2.0h）

29 最終発表の準備
最終発表の用意

予習: ポスターの用意 （約2.0h）
復習: 最終確認 （約2.0h）

30 最終発表
最終発表　△最終発表(ポスターのみ)

予習: 発表の練習
復習: